



医療安全管理室

発刊 2025 年 10 月 VoL.54

医療安全推進情報 広報「安進くん」

<医療安全管理研修会>

【第 1 回医療安全管理研修】

7 月 16 日～8 月 5 日

題 「令和 6 年度インシデント報告 医療安全は組織で築く」

菅本祐司副院長 医療安全管理室長

「うまくいったことに目をむけてみよう セーフティⅡで育てる安全文化」

野口美和 専従医療安全管理者

全員受講 100% 達成！しました。
ありがとうございました。



<医療安全活動>

【ISBARC 研修会】

2025 年 7 月 17 日、研修医 6 名、看護師 19 名、コ・メディカル 10 名、医事課 2 名の合計 37 名の受講者で実施しました。

研修内容は講義と各自課題＋4～5 名コ・メディカルや事務を含めた多職種で編成したグループワーク。グループワークにはコーディネーターを配置しました。

研修後のアンケート（37 名参加、回答率 100%）では、

- ISBARC の報告ツールは理解出来ましたかの問いに、33 名がよく理解できた、4 名がまあまあ理解出来たと回答しました。
- 今後の仕事に役立つと思いますかの問いに、34 名がとても役立つと回答し、3 名がまあまあ役立つと回答しました。

意見・感想では、「実臨床に則していて勉強になった」「ISBARC で報告することで、どの人にもわかりやすい報告が行えるようになると思った」「簡潔に相手に伝えられる方法を学ぶことができた」等の意見・感想がありました。また「多職種でグループワークをすることで今までと違った学びができた」「実際に多職種方の意見を聞くことができて勉強になった」という意見もあり、多職種で行うグループワークは有意義に行われたと思われます。



<放射線科のタスクシフト>

2021 年 5 月に診療放射線技師法が改正され、業務範囲拡大の中で造影剤注入のための静脈路確保が含まれることとなりました。当院においても、この業務を放射線科医師から診療放射線技師に移行することとなりました。検査の質を担保しつつ、安全に業務を行うために、当院としての基準や手順の整備等、医療安全室や看護師さんたちの協力のもと、業務以降をすすめてきました。

- e ラーニング

静脈路確保関連

造影剤に関する薬理 など合計約 700 分

- 実技研修

静脈穿刺の実技研修

動脈（カテーテル操作）などの実技研修 など合計約 400 分

日本放射線技師会監修の静脈路確保などに関する動画の視聴、動画の内容に関する確認テストを実施

告示研修

院内研修1
（復習）

院内研修

模擬血管を使用
した実技テスト

実技研修

OJT

看護部による、模擬人体を使用しての研修
トレーニング

チェックリストに沿って実技テストを実施
合格点に満たなかった場合は再テストを実施



お互いの腕を提供しあい練習

放射線科医師指導のもと、OJT 開始
急変時、血管外漏出時のトレーニング
造影剤副作用出現時対応のシミュレーションの実施

2025 年 4 月より『造影剤注入のための静脈路確保』の業務が放射線科医師から放射線技師に完全移行しました。技師のみでは対応困難な症例に対しては放科内視鏡看護師の看護師のサポートを受けています。

実施状況の記録を残し、一年後に振り返りを行う予定です。